

おんがくのたねまきコンサート 2018

# 江副友美ソプラノリサイタル

出演者プロフィール

## 江副 友美 / 声楽家・ソプラノ



佐賀県出身。武蔵野音楽大学音楽学部声楽科卒業。2003年にイタリアへ渡り、2009年ミラノ・ヴェルディ国立音楽院声楽科ディプロマ取得。留学中はオーストリア、シチリア、ナポリにおいて多くのセミナーにも参加し、修了演奏会に出演。帰国後は主に佐賀での演奏活動に力を注ぎ、2011年ミズ・コンサートやラフォル・ジュルネ in 鳥栖のプレコンサート、佐賀県法人会によるスクールコンサートにてアルモニア管弦楽団と共演。そのほか、さぎん・ウェンズデイコンサートに2回出演。佐賀県立病院好生館緩和ケア病棟での演奏や東日本大震災の為にチャリティーコンサートを企画し、出演するなどボランティア活動にも積極的に参加している。第18・19回(2012県民第九のソプラノ・ソリストとして出演するなど、そのほか地域に根差した音楽会に数多く出演。2011年にファーストアルバム「あふれる愛」をリリース。えびすFMにてクラシック音楽番組「ベッラ・ムジカ」のパーソナリティーを務める。2016年ふるさとの空(嬉野市市民)合唱団の合唱指導と自身初の指揮者で出演。その他多数の指導等にて後進の育成にもあたっている。これまでに声楽を松本康男、吉原範子、小池道子、Vittorio Terranova各氏に師事。佐賀県音楽協会会員。

## 黄 世和 / ファンセファ / ピアノ



大阪音楽大学器楽科オルガン専攻 卒業。同専攻科 修了。全国新人演奏会出演。結婚を機に佐賀に移り住み、子育てがひと段落ついた頃から、後進の指導にあたりながら、音楽活動を始める。地元佐賀のオーケストラとの共演にも恵まれ、2011年1月、ミズ薬局主催第2回ミズコンサートにて、アルモニア管弦楽団をバックに独唱をつとめた江副友美氏とチェンバロで初共演を果たす。5月にはアルモニア管弦楽団第10回記念定期演奏会にて、サン・サーンス交響曲第3番ハ短調op.78「オルガン付き」のオルガンをつとめる。2013年第12回定期演奏会では、モーツァルトのレクイエムにオルガンで出演。また、所属する佐賀パッハプレイヤーズの定期演奏会では、ブランデンブルグ協奏曲の5番やチェンバロ協奏曲ニ短調BWV1052にて、チェンバロソロをつとめる。希少なパイオルガンのある教会にも出会い、教会主催のオルガンコンサートやヘンデルのメサイア、パッハのヨハネ受難曲にてオルガンを演奏する機会も得た。江副友美氏とは、2012年秋頃より本格的に演奏活動を始める。ホールでのコンサートに限らず、ホテルやレストラン、病院や施設、また幼稚園やお寺など、場所を問わず様々な場所で演奏を行っている。佐賀市在住。

## 中野 かおり / ダンサー



中学生の頃から6年間佐賀・福岡を中心に笑いを届けることを中心とし、歌、ダンス、芝居を方言で創り上げるミュージカル団体「WARAWANBA隊」へ所属。主に舞台、ステージイベントを中心に、TV、新聞、ラジオ等にも出演。福祉センター、学校への慰問訪問にて出演。ミュージカルソング入りCD発売。平成26年4月エンターテイメント集団「Performance Factory HAPPY (パフォーマンスファクトリー ハッピー)」設立、代表となり、所属タレントの育成、レッスンをを行い、様々なイベントプロデュース、イベントアドバイザーとして活動中。子ども～大人の幅広い年代の方を対象とした、ダンス・芝居・表現することをテーマにしたワークショップ開催中。県内外の学校にてダンス、芝居の臨時講師を務める。芝居・ダンス・歌・コント・アクション等、エンターテイメント性溢れる幅広い舞台女優(表現者)、指導者として活動の場を広げている。

いつか、この街に色とりどりのおんがくの「花」が咲きますように…。